

ひがしにほんだいにんさい おお せんたい
東日本大震災で、大きなゆれやつなみのために、仙台
市は大きなひがいをうけました。しんさい後、仙台市の
ふっこうはどのようにすすんできたのでしょうか。

1 しんさいのあととふっこうの様子



ながまちちく
長町地区のかせつじゅうたく



あらいひがしちく
荒井東地区に建てられたふっこうじゅうたく

かせつじゅうたくから、ふっこうじゅうたくにひっこす
ことができた大橋さんは、まえよりも生活がしやすくなった



あらいひがしちようないかい かいちよう おおはし
荒井東町内会の会長 大橋さん

そうです。地いきがばらば
らになっても、きずなを大
切にして、またいっしょに
くらしたいとねがっていま
す。しんさいからのふっこ
うは、まだつづいていきま
す。

2 み来にむかって

2015 (平成27) 年3月、仙
台で国連防災世界会議がひ
らかれました。荒浜小学校
の子どもたちは、地いきの
ふっこうの様子を「あらは
ま ハッピー計画」として
発表しました。また、み来



あらまじょうがっこう しょう
フォーラムで発表する荒浜小学校の児童

のまちが、こうなってほしいという思いをもって4年生が公
園のもけいを作りました。もけいには、み来へのゆめときぼ
うが、たくさんつまっています。



あらまじょうがっこう しょう
荒浜小学校の児童が作った
ゆめの公園もけい

しんさいからのふっこうについて、
家族に聞いてみましょう。

